

### 1 PLAN(目的・概要)

政策名	国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	企画調整室 企画担当課長	
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	飛島ふ頭南コンテナターミナル荷役機械整備事業			連絡先 連携課	052-654-7906	
目的	対象(誰・何を)	飛島ふ頭南コンテナターミナル荷役機械(ガントリークレーン)			事業 期間	平成28年度～令和2 年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	1基増設及び3基更新を行います。				
概要	飛島ふ頭南コンテナターミナルの取扱機能を強化するため、名古屋四日市国際港湾㈱は、船舶の大型化や荷役機械(ガントリークレーン)の老朽化に対応した、荷役機械(ガントリークレーン)の整備を行います。			根拠 法令等	港湾法第55条の9	
令和元年度の実施予 定	荷役機械(ガントリークレーン)の2基(1号機、3号機)の整備を進めます。			実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
				関連 シート		

### 2 DO(実施)

令和元年度に実施した 内容・結果	本組合からの貸付金を活用して、名古屋四日市国際港湾㈱が荷役機械(ガントリークレーン)の整備を進め、1基(1号機)の更新が完了し、1基(3号機)の整備に着手しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	合計	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	982,800	850,500	875,700	2,709,000	
人件費	千円	-	-	917	917	
合計	千円	982,800	850,500	876,617	2,709,917	

### 3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	最終目標	2	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
荷役機械の整備・更新した基数 (全4基) (進行管理型)	目標			3	4	荷役機械(ガントリークレーン)の整備・更新した基数	
	実績	1	2	3			
	事業進捗状況(元年度)			順調 やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	予定通り整備を進めています。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	名古屋四日市国際港湾㈱(港湾運営会社)が行う無利子貸付金事業に対して、本組合(港湾管理者)は一定の割合で資金を貸し付ける必要があります。				
有効性	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○	船舶の大型化や荷役機械(ガントリークレーン)の老朽化に対応した、荷役機械(ガントリークレーン)を整備することで、飛島ふ頭南コンテナターミナルの取扱機能を強化することができます。				
効率性	期待どおりの成果が得られているか?	○	無利子貸付金制度を活用することで、コストが最小となるよう、効率的に進めています。				

### 4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	船舶の大型化や荷役機械(ガントリークレーン)の老朽化に対応する必要があるのであるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
飛島ふ頭南コンテナターミナルの取扱機能強化に必要な不可欠な施設であるため、名古屋四日市国際港湾㈱が計画通り整備を進めていく必要があります。			令和2年度秋ごろに4基目の荷役機械(ガントリークレーン)の設置が完了するよう事業進捗を図っていきます。